VISION

取扱説明書

I370S
I370B

PAGER SECURITY

Ver. 26109WEB

目　次

はじめに 1
安全に正しくお使いいただくための表示について 1
危　険 2
警　告 2
注　意 3
その他の注意 3
梱包物をご確認ください 4
リモコンの各部名称と注意事項 5
液晶表示アイコンについて 6
取扱説明編 6
ページャーリモコンの設定 7
　時計／アラーム／タイマー機能の設定 7
　簡易カウントダウンタイマー機能 7
　メロディーモードとバイブモードの切替え 7
　パワーセーブ機能 8
　バックライト機能 8
　ページャーの電池交換 8
ページャーに関する事項 9
セキュリティをセットする 11
　セキュリティセット（警戒） 11
　サイレントモードの（リモコンボタンIIによる）セット 11
　消音の（リモコンボタンIIIによる）セット 12
　オートアーム機能によるセット 13
　オートリアーム機能によるセット 13
セキュリティセット時の異常 14
　エラーチャープ 14
セキュリティを解除する 14
　通常の（リモコンボタンIによる）解除 14
　消音解除（リモコンボタンIIまたはIIIによる操作） 15

緊急（緊急リセットコードによる）解除 15
その他の操作 **15**
ダイレクトドアロックのボタン操作 15
警戒中のシステム動作 **16**
その他の機能 **18**
各種機能の設定 **19**
機能選択項目説明 **20**
インテリジェントIGプロテクト（エンジンスタータ対応） 20
リモートスタート中確認動作（エンスタ連動ライト） 20
オートアーム 20
オートリアーム 20
イクステリアイルミネーション（解除点灯機能） 20
取扱いに関するQ & A **21**
車を点検に出したらリモコンが効かなくなった！ 21
リモコンを紛失して不正利用されるのが不安！ 21
出先でリモコンを紛失してしまった！ 21
リモコンの電池が切れてしまった！ 21
セキュリティはセットされているのに何も反応しない！ 21
異常発報時にリモコン操作ができない！ 21
ページャーの表示がおかしい！ 21

はじめに

この度はVISION1370S、1370Bページャーセキュリティをお買い求めいただき誠にありがとうございます。ご使用前に必ず本書をお読みいただき、正しい取扱い方法によりご使用いただきますようお願いします。また、本書は読んだ後も大切に保管してください。

なお、本書は、あなたやほかの人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本装置を安全に正しくお使いいただくために守って頂きたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次のようになっています。本装置をお使いいただく前に必ずよくお読みください。

安全に正しくお使いいただくための表示について

⚠ 危 険 **人が死亡するまたは重傷を負う危険が想定される内容を示しています。**

⚠ 警 告 **人が重傷を負う危険が想定される内容および物的損害が想定される内容を示しています。**

⚠ 注 意 **本装置の本来の性能を発揮できなかったり、本装置の故障をまねく内容を示しています。**

⚠ 危　険

● 本装置取付け時のバッテリー電源

本装置の取付けを行う場合には必ずバッテリー電源を外した状態で作業を行ってください。電源が外されていない状態で作業を行うと、車両または車両の機器の突発的な動作により重大な事故の原因となります。

● 本装置の設置位置

コントロールユニットを水、湿気、熱、湯気、ほこり、油等の多い場所に保管、設置しないでください。火災、感電、故障の原因になります。

⚠ 警　告

● 本装置の取付け

本装置の取付には車両電装および車両整備に関する詳しい知識と技術が必要です。取付は必ず車両電装に関する専門の知識と技術をお持ちの取付店にて行ってください。専門の知識や技術のない方が取付を行うと車両または本装置の故障・損傷のみならず、人体にも危険が及ぶ可能性があります。

● 本装置の設置位置

本装置は車両の機器や他の機器と干渉する場所やそれら機器に影響を及ぼすような場所には設置しないでください。特に車両の機器の性能を損なうような取付けを行うと本装置の故障・損傷のみならず、人体にも危険が及ぶ可能性があります。

● 12V車専用

本装置は12V電源専用機器です。24V車への取付けを行うと車両または本装置の故障・損傷のみならず、人体にも危険が及ぶ可能性があります。

© 2008 VISION JAPAN

⚠ 注　意

● 本装置の固定

本製品は確実に固定してください。固定が不十分であると、故障の原因になったり、性能が十分に発揮されない可能性があります。

● 車両のバッテリー交換

車両のバッテリーターミナルを外す際には必ず本製品の主電源（メインカプラ）を外した状態で行ってください。主電源を接続したままバッテリーを交換すると、登録されているリモコンIDコードが消える等の故障の原因になる可能性があります。

● エアバックや盗難防止機能付ステレオを装備した車両

エアバックや盗難防止機能付ステレオを装備した車両はバッテリーが外されたことを記憶する機能を有していることがあります。この記憶状態をリセットするには専用のID番号が必要となり、その車両を購入したディーラーでなければ解除できないことがあります。

● 取付作業

本製品の取付時は換気と鍵の閉じこめ防止のため窓を開けて作業を行ってください。

● 充電制御システムを装備した車両

一部車両の充電制御システム装備車では、バッテリーへの配線方法によりバッテリー上がりを起こす可能性があります。

⚠ その他の注意

● 万一誤った設置や配線、車両電装の知識不足による誤った配線方法により車両の破損、故障が発生しても当社では一切責任は負いかねます。

● 本製品は盗難防止を目的としたシステムですが、本製品の作動の有無に関わらず盗難等の被害が発生しても当社では一切の責任を負いかねます。

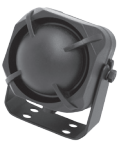
梱包物をご確認ください

メインユニット ×1

TR53A-7X
ﾍﾟｰｼﾞｬｰﾘﾓｺﾝ ×1

車載送受信アンテナ ×1

衝撃センサー ×1



ノーマルサイレン ×1
（1370Sのみ）

ﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟｻｲﾚﾝ ×1
（1370Bのみ）
※専用キー2個 再発行不可

動作確認LED ×1

配線用ハーネス ×1

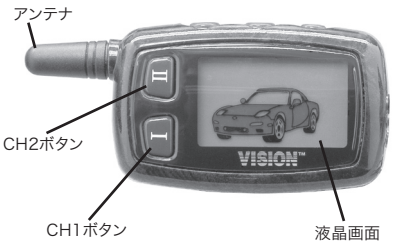
アンテナ用ハーネス ×1

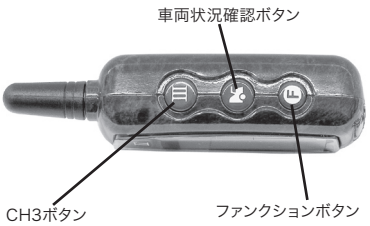
その他の梱包物

TR53A-7X用　単四型電池	X　1
送受信アンテナ固定用両面テープ	X　1
適合証明書	X　1
VISIONステッカー	X　1
本説明書	X　1

© 2008 VISION JAPAN

リモコンの各部名称と注意事項





※ 取付けに関する詳細は本書取付説明編を参照してください。

注 意 ！

※ ページャーリモコンは振動、衝撃に対して非常にデリケートな製品です。

※ 小さな振動や衝撃でも長時間に渡り連続／断続的に加えられた場合にはページャーリモコンは破損します。

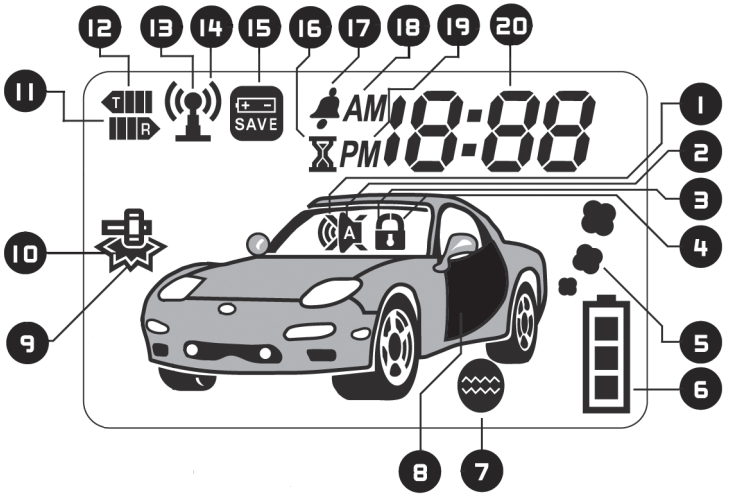
※ 振動や衝撃により破損した場合の主な症状としては「アンサーバック（通知）しなくなる」、「液晶表示がおかしくなる」等があげられます。

※ アルカリ電池はその性質上過放電が起きた場合には液漏れを起こします。一旦液漏れが発生すると、ページャーリモコンの内部回路や部品がその液により腐食され修理による性能の回復が困難となります。
ページャーリモコンを長期間使用しない場合には電池を抜いた状態で保存するようにしてください。残量の少ない電池を入れたまま2週間以上放置したり、電池残量の少ない状態で使用し続けたりすると過放電により液漏れを起こす危険度が高くなります。

※ ページャーリモコンには充電式電池は使用できません。かならずアルカリ乾電池を使用してください。

※ ページャーリモコンは精密機器であるためホコリや水分がページャー内部に侵入すると故障の原因となります。ポケットの中等ホコリの多い場所、湿度が高い場所での保管は極力避けるようにしてください。

液晶表示アイコンについて



1. 消音
2. メロディモード
3. セット／ロック
4. 解除／アンロック
5. エンジン始動検知
6. ページャー電池残量
7. バイブモード
8. ドア開／閉
9. 強衝撃検知／衝撃ｾﾝｻｰﾊﾞｲﾊﾟｽ
10. 弱衝撃検知
11. 受信回路スタンバイ
12. 送信回路スタンバイ
13. 受信圏内表示
14. 信号送出表示
15. パワーセーブモード
16. カウントダウンタイマー
17. アラーム時計モード
18. AM表示
19. PM表示
20. 時刻表示

© 2008 VISION JAPAN

ページャーリモコンの設定

時計／アラーム／タイマー機能の設定

ページャーリモコンには時計機能があります。電池交換の際には時計を設定し直す必要がありますので、下記方法を参照して時計を設定してください。また、時計にはアラーム機能やカウントダウンタイマー機能があります。
時計／アラーム／タイマーの設定はまず Ⓕ ボタンを長く押し時計設定モードに入ります。その後下記表の操作欄の回数ボタンを短く押す事で各設定を行う事ができます。

機能	操作	ｱｲｺﾝ表示	時間の設定をするには
時計の設定／「時」調整	Ⓕを長押し	AM 12:00 ②	Ⓢボタンを押すごとに時間の増加またはON設定できます。ボタンを押したままにすることで早く増加できます。 Ⅲボタンを押すごとに時間の減少またはOFF設定できます。ボタンを押したままにすることで早く減少できます。
時計の「分」調整	Ⓕ1回押し	AM 12:00 ③	
アラームの「時」調整	Ⓕ2回押し	AM 12:00 ②	
アラームの「分」調整	Ⓕ3回押し	AM 12:00 ③	
アラームのON/OFF	Ⓕ4回押し	OFF	
タイマーの「時」調整	Ⓕ5回押し	0:00 ②	
タイマーの「分」調整	Ⓕ6回押し	0:00 ③	
タイマーのON/OFF	Ⓕ7回押し	OFF	

簡易カウントダウンタイマー機能

Ⓕ ボタンを押しながら Ⓢ ボタンを短く押すことにより10分、20分、30分、60分、90分、120分のカウントダウンタイマーを簡単に使用できます。使い方は、設定したい時間が表示されるまで Ⓕ ボタンを押しながら Ⓢ ボタンを短く押します。使いたい時間が表示されたら（時間とカウントダウンタイマーを示す砂時計アイコンが表示されます。⧗ 0:10）そのままにします。この時点でカウントダウンタイマーがスタートします。

※ 時計／アラーム／タイマーの各機能は本システムの機能とは関係ありません

メロディーモードとバイブモードの切替え

ページャーリモコンには車両からのアンサーバックを音で知らせるメロディーモードと振動によって伝えるバイブモードとがあります。
それぞれのモードは Ⓕ ボタンを押しながら Ⅱ ボタンを短く押すたびに入れ替わり、メロディーモードが選択されるとメロディが流れバイブモードが選択されると一度振動します。

ページャーリモコンの設定（続き）

パワーセーブ機能

ページャーリモコンの受信機能はシステムのセット／解除にかかわらず常にONの状態になっています。システムが解除になっていて長時間アンサーバックを受信する必要がない場合にこの受信機能をOFFすることによりページャーの電池寿命を長くする事ができます。

この機能を使うには必ずシステムが解除になっている必要があります！

まず F ボタンを押しながら 1 ボタンを押します。

液晶画面に SAVE アイコンが表示されページャーのパワーセーブモードがONになったことを知らせます。最後にページャーのボタンを押してから2分後にページャーの受信器がOFF状態になり、受信圏内表示アイコン 1（アンテナアイコン）が消え受信器がOFFになった事を知らせます。この時同時に受信回路スタンバイアイコン IIID も消えます。

ヒント

パワーセーブモード中でもページャーのボタンを押すと一時的に受信機能はON状態になります。SAVEアイコンが表示されている状態でシステムが解除状態であれば2分以上ページャーのボタン操作をしなければ自動的にページャーの受信機能はOFF状態にもどります。

SAVEアイコンが表示されていてもシステムがセット中は受信機能はOFFになりません。

パワーセーブモードを終了し通常モードに戻すにはもう一度 F ボタンを押しながら 1 ボタンを押します。

バックライト機能

ページャーリモコンには暗所などで液晶画面を見やすくするためのELバックライトが装備されています。ELバックライトは通常のボタン操作を行うと自動的に点灯するようになっています。

ELバックライトだけを点灯し、他の操作をしたくない場合には F ボタンを一度短く押します。ELバックライトが約5秒間点灯します。

ページャーの電池交換

ページャーの電池残量が少なくなると液晶画面に 🔋 アイコンが表示されます。🔋 アイコンは通常、ボタン操作をおこなったに際に警告音と同時に表示されることがほとんどです。

ページャーリモコンはアルカリ単4乾電池を使用します。電池交換の際にはページャーリモコンから電池を抜いた後一旦 C ボタンを押してから電池を入れてください。

電池を挿入後は時計等の設定を行ってください。

© 2008 VISION JAPAN

ページャーに関する事項

TR53A-7Xページャーリモコンは精密機器であるため振動や衝撃、ほこり、湿気等に対して非常にデリケートな製品です。本頁ではページャーの取扱い上特に注意すべき点を紹介していますので、良く読んで正しくお使いください。

液漏れについて

アルカリ電池はその性質上過放電が起きた場合には液漏れを起こします。一旦液漏れが発生すると、ページャーリモコンの内部回路や部品がその液により腐食され修理による性能の回復が困難となります。
ページャーリモコンを長期間使用しない場合には電池を抜いた状態で保存するようにしてください。残量の少ない電池を入れたまま2週間以上放置したり、電池残量の少ない状態で使用し続けたりすると過放電により液漏れを起こす危険度が高くなります。

液晶画面表示

ページャーの液晶画面は画面を見る際の角度によって本来表示されるべき以外のアイコンが見えることがありますが、異常ではありません。
※ 特に斜め方向から覗き込むと関係ないアイコンが見える場合があります。

電池交換

電池交換を行うとまれに関係ないアイコンが表示されることがあります。これはページャーの電池を抜いてもしばらくのあいだ回路内に残存電圧があるために起こる現象です。このような症状が出た場合には「一旦電池を抜き、電池が入っていない状態でボタン(どのボタンでも良い)を3秒ほど押します」。その後再度電池を入れてください。

通知と操作のタイミング

警告通知時または異常発報時には、通知開始から数秒間は常に車両システムが送信状態、ページャー側が受信状態となります。このため通知開始数秒間はページャーからの操作はできません。
また、ページャーのボタン操作をしている間(ボタンを押している間)はページャーは送信状態となっていますので、この間は車両側からの通知を受信することができません。セット／解除時のボタン操作を必要以上に長く行うと、車両側からの通知(アンサーバック)を受信できません。この場合「車両側は正しくセットされているのにページャー側は正しく反応しない」という状態になることがあり、これを故障とまちがえることがありますが異常ではありません。再度システムをセット／解除することによってページャーの液晶表示は正しく更新されます。

通信距離

本製品は車載送受信ユニットとページャー間の通信に電波を使用しているため、製品を使用する周囲の電波環境や設置環境からの影響を強く受けます。特に警告通知や異常発報通知時の車載器からページャーへの通信は影響を受けやすくなります。ページャーのアンテナ部分が金属物に触れていたり、人間が触っていたりすると普段は問題なく受信できている距離でも受信できなくなることがあります。
また、テレビ塔や携帯電話の中継基地等の強い電波を発している場所の近くでは、ページャーでの受信のみならず操作も出来ない場合があります。

ページャーに関する事項（続き）

取扱い

ページャーリモコンは振動、衝撃に対して非常にデリケートな製品です。小さな振動や衝撃でも長時間に渡り連続／断続的に加えられたり、ほこりの多い場所や湿気の多い場所で長時間使用した場合にはページャーリモコンは破損します。振動や衝撃により破損した場合の主な症状としては「アンサーバック（通知）しなくなる」、「液晶表示がおかしくなる」等があげられます。

保管について

ページャー内部にホコリ等が侵入すると故障の原因となりますので、ポケットの中等のホコリが多い場所には保管しないようにしてください。

付属の電池について

製品に同梱の電池は動作確認用です。製品同梱の電池は寿命が短い事がありますが異常ではありません。単４アルカリ乾電池を新たに購入してご使用ください。

ページャー操作クイックガイド

ボタン操作早見表

機能	ボタン操作	
セット／解除（確認チャープ音有）	Ⅰ	短押
サイレントモードによるセット/解除(確認チャープ音無)	Ⅱ	短押
消音セット／解除(確認チャープ音無)	Ⅲ	短押
センサーバイパスモードのセット	Ⅰ&Ⅱ	短押
ドア・ロック／アンロックのみの操作	Ⅱ&Ⅲ	短押
パニック機能	ⅠorⅡorⅢ	長押
車両状況確認		短押
バックライト	Ⓕ	短押
バイブモード／メロディモード	Ⓕ&Ⅱ	短押
パワーセーブモードON／OFF	Ⓕ&Ⅰ	短押

© 2008 VISION JAPAN

セキュリティをセットする

セキュリティセット（警戒）

通常モードのセット

リモコンの I ボタンを1回短く押します。

車両側動作

チャープ音が1回発せられ動作確認LED(以降LED)が点灯します。ハザードフラッシュの配線が施されている場合はハザードが1回点滅します。ドアロックの接続がされている場合にはドアがロックされ、同時に動作中出力（GWA）の出力が開始されます。LEDは5秒間点灯した後点滅に変わり、システムが警戒を始めたことを知らせます。

※（LED点灯中にドアを開けたり、イグニッションを回してもサイレンは鳴動しません。）

ページャーリモコン側動作

ページャー液晶画面の表示が「解除中」から「警戒中」に変わり、同時にチャープ音が1回鳴り（バイブモードでは振動1回）セキュリティがセットされた事を知らせます。

サイレントモードの（リモコンボタンIIによる）セット

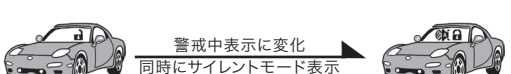
リモコンの II ボタンを1回短く押すことにより、セキュリティをサイレントモードでセットすることが出来ます。サイレントモードとはシステム警戒時に異常が検知された場合に車両でのサイレンは一切鳴らさず、ハザードの点滅だけで車両の異常を周りに伝えるモードです。

車両側動作

動作確認LED（以降LED）が点灯し、ハザードが1回点滅します。ドアロックの接続がされている場合にはドアがロックされ、同時に動作中出力（GWA）の出力が開始されます。LEDは5秒間点灯した後点滅に変わります。これによりシステムが警戒を始めたことを知らせます。

ページャーリモコン側動作

ページャー液晶画の面表示が「解除中」から「警戒中」に変わり、同時に長音が1回鳴り（バイブモードでは振動1回）セキュリティがサイレントモードでセットされた事をしらせます。また、同時に「サイレントモードアイコン 」が表示されます。



セキュリティをセットする（続き）

消音の（リモコンボタンIIIによる）セット

リモコンの III ボタンを1回短く押すことにより、確認チャープ音を消しながらセキュリティをセットする事ができます。警戒中の動作は通常セットの場合と同じです。

車両側動作

動作確認LED（以降LED）が点灯し、ハザードが1回点滅します。ドアロックの接続がされている場合にはドアがロックされ、同時に動作中出力（GWA）の出力が開始されます。LEDは5秒間点灯した後点滅に変わります。これによりシステムが警戒を始めたことを知らせます。

ページャーリモコン側動作

ページャー液晶画面の表示が「解除中」から「警戒中」に変わり、同時にチャープ音が1回鳴り（バイブモードでは振動1回）セキュリティがセットされた事を知らせます。

センサーバイパスモードの（リモコンボタンI＋II）セット

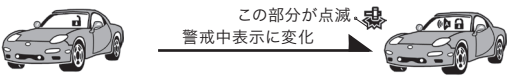
リモコンの I と II ボタンを同時に押すと、システムをセンサーバイパスモードでセットすることができます。センサーバイパスモードとは衝撃センサーやオプションセンサー（別売）を一時的に検知しないようにシステムをセットするモードです。それ以外の車両側動作は通常モードと同じです。

車両側動作

チャープ音が2回発せられ動作確認LED(以降LED)が点灯し、ハザードが1回点滅します。ドアロックの接続がされている場合にはドアがロックされ、同時に動作中出力（GWA）の出力が開始されます。 LEDは5秒間点灯した後点滅に変わります。これによりシステムが警戒を始めたことを知らせます。

ページャーリモコン側動作

ページャー液晶画面の表示が「解除中」から「警戒中」に変わり、同時にチャープ音が1回鳴り（バイブモードでは振動1回）セキュリティがセットされた事を知らせます。この時センサー類がバイパス状態にある事を知らせる アイコンも同時に表示されます。



ヒント

「通常モードセット」と「消音セット」時のページャーでの液晶表示及び動作は同じです。

© 2008 VISION JAPAN

セキュリティをセットする（続き）

オートアーム機能によるセット …（機能設定した場合のみ）

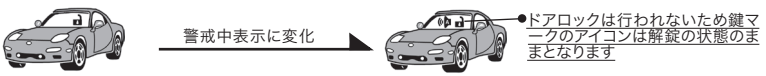
イグニッションOFF後、最後にドアを開閉した時点から20秒経過すると自動的にセキュリティがセットされます。（ドアロックは行いません）

車両側動作

チャープ音が1回発せられ動作確認LED(以降LED)が点灯し、ハザードが1回点滅し、 同時に動作中出力（GWA）の出力が開始されます。LEDは5秒間点灯した後点滅に変わりシステムが警戒を始めたことを知らせます。
ドアロックはされません

ページャーリモコン側動作

ページャー液晶画面の表示が「解除中」から「警戒中」に変わり、同時にチャープ音が1回鳴り（バイブモードでは振動1回）セキュリティがセットされた事を知らせます。



オートリアーム機能によるセット …（機能設定した場合のみ）

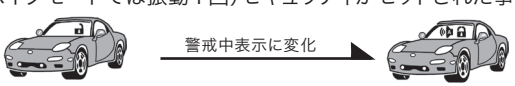
セキュリティ解除後60秒以内にドアが開けられない場合には自動的にセキュリティが再セットされます。
誤ってセキュリティを解除しても自動的に再セット出来る便利な機能です。

車両側動作

チャープ音が1回発せられ動作確認LED(以降LED)が点灯し、ハザードが1回点滅します。ドアロックの接続がされている場合にはドアがロックされ、同時に動作中出力（GWA）の出力が開始されます。LEDは5秒間点灯した後点滅に変わりシステムが警戒を始めたことを知らせます。

ページャーリモコン側動作

ページャー液晶画面の表示が「解除中」から「警戒中」に変わり、同時にチャープ音が1回鳴り（バイブモードでは振動1回）セキュリティがセットされた事を知らせます。



※ 結線の方法によってはドアロックの解除に連動してルームランプ等が点灯する車両では利用できません。

ヒント

どの方法でセキュリティをセットしても、LED点灯中にドアを開けたり、イグニッションを回してもサイレンは鳴動しません。

セキュリティセット時の異常

エラーチャープ

セキュリティ警戒セット時にすでにいずれかのセクター(監視箇所)に信号入力がある場合、警戒セット後にセット時の異常を知らせます。
動作確認LEDが点灯中にそれらの信号を取り除き正常な状態に戻してください。LEDが点滅を始めると異常信号が入力状態になったままのセクターはバイパスされます。バイパスは異常信号がなくなってから5秒後に復帰します。

通常モードまたはセンサーバイパスモードのセット時
警戒セット後にチャープ音を2回発し、2回のハザード点滅を行います。

サイレントモードまたは消音セット時
警戒セット後にハザード点滅を2回行います。(チャープ音は鳴りません。)

⚠ **注意!**

・ドア信号入力はドアが一度完全に閉じられるまでバイパスされ、閉じられた後は正常に監視されます。
・セキュリティセット時に異常となっているセクター(ドア、センサー)は必ずLEDが点灯中に正常な状態(ドアは閉じる、センサーは反応していない状態)にしてください。

※セクターとは監視箇所(ドア、センサー、IG)の総称です。

セキュリティを解除する

通常の(リモコンボタンIによる)解除

リモコンの I ボタンを1回短く押します。

車両側動作
チャープ音が3回発せられ動作確認LED(以降LED)が消灯し、ハザードが3回点滅します。ドアロックの接続がされている場合にはドアがアンロックされます。また同時に動作中出力(GWA)の出力が停止します。

ページャーリモコン側動作
ページャー液晶画面の表示が「警戒中」から「解除中」に変わり、同時にチャープ音が2回鳴り(バイブモードでは振動2回)セキュリティが解除された事を知らせます。

© 2008 VISION JAPAN

消音解除(リモコンボタンIIまたはIIIによる操作)

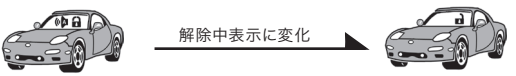
リモコンのIIまはたIIIボタンを1回短く押すことにより、確認チャープ音を消しながらセキュリティを解除する事ができます。

車両側動作

動作確認LED(以降LED)が消灯し、ハザードが3回点滅します。ドアロックの接続がされている場合にはドアがアンロックされます。また同時に動作中出力(GWA)の出力が停止します。

ページャーリモコン側動作

ページャー液晶画面の表示が「警戒中」から「解除中」に変わり、同時にチャープ音が2回鳴り(バイブモードでは振動2回)セキュリティが解除された事を知らせます。



緊急(緊急リセットコードによる)解除

※ 緊急解除機能を使用するには、ドア信号入力線及びIG信号入力線が接続されている必要があります。

手順	作業内容
1	セキュリティ警戒中にドアを開け異常発報させます。
2	異常発報中にイグニッションキーを任意に登録した緊急リセットコードの回数ACC⇔ONの間で動かします。(ドアは開けたままの状態で行ってください。)
30秒間の異常発報停止後セキュリティが解除されます。	

※工場出荷時の緊急リセットコードは6です。

ヒント

プッシュスタートシステム搭載車両では上記操作は困難ですので、別売オプション機能設定スイッチPBS-30をご使用ください。

その他の操作

ダイレクトドアロックのボタン操作

通常モード時は II & III を同時に短く押すことでセキュリティをセットせずにドア・ロック／アンロックのみをコントロールすることができます。

警戒中のシステム動作

ドア検知

車両側動作

ドアが開けられると30秒間またはリモコンで停止されるまで異常発報します。ドアによるサイレンはドアを解放したままの状態で最大5回までです。その後は一旦ドアを閉め、再度ドアを開けるまでサイレンは発報しません。

ページャーリモコン側動作

液晶画面上の車両ドア部分の点滅と同時にサイレンが鳴り（バイブモードでは振動と音が交互）、車両ドアに異常が発生したことを知らせます。

セキュリティ警戒中のエンジン始動検知

機能選択表のインテリジェントIGプロテクト（IIP）のモード選択(19頁モード選択表参照)により下記2種類の動作を行います。

Ⅰ プロテクトモード（エンジンスタータ非対応）：

車両側動作

エンジンがかけられると30秒間またはリモコンで解除されるまで異常発報します。
イグニッションをONにしたままにすると本警報は最大で10回鳴り、11回目からはサイレンは鳴動しません。

Ⅱ エンジンスターター／ターボタイマー対応モード：

車両側動作

エンジンがかけられるとショックセンサーはエンジン停止まで無視されます。ただし、このモードが選択中であってもドアは引き続き監視中ですので、ドアが開けられた場合には異常発報が行われます。

ページャーリモコン側動作

いずれのモードでもセキュリティ警戒中にエンジンが始動されると液晶画面上の車両後部タイア後方に「エンジン始動アイコン」が表示されます。

※ プロテクトモードではアイコン表示と同時にサイレンが鳴り（バイブモードでは振動と音が交互）、エンジンが不正に始動されたことを知らせます。

※ スターター対応モードでは、エンジン始動時と停止時にメロディが流れます。

インテリジェントIGプロテクト

インテリジェントIGプロテクト（IIP）機能はエンスタモードが選択されていても、警戒中にドア信号により異常発報すると、その後再度警戒セットされるまで、エンジン始動で異常発報し乗逃げをガードします。

© 2008 VISION JAPAN

警戒中のシステム動作（続き）

動作確認LED

警戒中は通常1秒に1回のゆっくりした点滅を行います。サイレンが鳴動すると点滅速度が早くなり、警戒が一度解除され再度セットされるかイグニッションがONされるまで継続します。一旦サイレン鳴動が止まっても異常があったことを知らせてくれます。

GWA（動作中出力）

セキュリティセット中にアースが連続して出力されます。ルミネーター等のオプション(別売)をコントロールする場合に使用します。

車両状況確認機能

ページャーリモコンの ボタンを短く一度押す事によりその時点での車両状況（セクターの状況）を確認することができます。

ハイセキュリティサイレンストップ

車両で異常が発生し異常発報またはパニックによる発報をしている場合、ページャーのボタンを1回押すと、まずページャーでのサイレンが停止します。その後更にもう一度ページャーのボタンを押すと車両側での異常発報が停止し、警戒は継続します。セキュリティを解除したい場合には異常発報していない状態で Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、のいずれかのボタンをもう一度押す必要があります。

センサー検知

シングルステージ：（弱衝撃）

車両側動作

付属の衝撃センサーまたはオプションセンサーが警告動作を行うとチャープ音が5回鳴り(サイレントモードでは鳴りません)、ハザードが5回点滅します。
※センサーバイパスモードでは反応しません。

ページャーリモコン側動作

液晶画面上の車両ヘッドライト部分の点滅と同時に警告音が10回鳴り（バイブモードでは振動3X10回）、車両に弱い振動が加えられたことを知らせます。

デュアルステージ：（強衝撃）

車両側動作

付属の衝撃センサーまたはオプションセンサーが警報動作をおこなうと30秒間またはリモコンで停止するまで異常発報します(サイレントモードでは鳴りません)。
※センサーバイパスモードでは反応しません。

ページャーリモコン側動作

液晶画面上の車両フロントガラス部分のハンマーアイコンの点滅と同時にサイレンが鳴り（バイブモードでは振動と音が交互）、車両に強い振動が加えられたことを知らせます。

その他の機能

ハザードの点滅

セキュリティセット時→1回点滅、サイレン鳴動中→30秒間点滅、警戒解除時3回点滅、警告時→5回点滅、エラーチャープ時→2回点滅。

セクターバイパス（SBS）機能

同じセクターにより10回異常発報した場合、そのセクターは周囲への迷惑を防止するため11回目以降はバイパスされ反応しなくなります。バイパスを解除するには一度システムを解除し、再度警戒状態にセットする必要があります。※ドアは除く
※セクターとはドア、IG、センサー等の監視箇所のことです。

（トリガー）メモリー機能

セキュリティ解除時に通常３回の解除音が４回に変化し、通常警戒中は0.5秒に1回のゆっくりした点滅を行う動作確認LEDが異常発報と同時に点滅速度が早くなります。LEDの早い点滅はセキュリティが再セットされるかセキュリティ解除中にイグニッションがONされるまで継続します。このような場合は車両に異常が無いか確認してください。

通信圏表示機能

ページャーリモコンのボタン操作を行うと アイコンが液晶画面に表示され、ページャーと車両が通信圏内にある事を示します。システムをセットした後車両から離れ、その場所が通信圏内にあるかどうかをチェックするには ボタンを一度短く押します。通信圏内であれば現在の車両状況とともに アイコンが表示されます。 アイコン表示が消えてしまう場合は通信圏外であることを示しています。

パニックサイレン機能

Ⅰ or Ⅲ ボタンによるパニック

セキュリティ警戒中にリモコンの Ⅰ ボタンまたは Ⅲ ボタンを3秒以上長押しすることにより意図的にサイレンを鳴動させることができます。このパニックサイレン機能により鳴動したサイレンは30秒間継続します。この30秒間にはサイレン鳴動の他、ハザードラッシュの継続とLEDの急点滅が行われます。

車両側動作
一旦セキュリティ解除した後すぐに異常発報状態となります。

TR53A-7X（ページャー）側動作
ページャー液晶画面の表示はボタンを押しているあいだアイコンが表示されたままとなります。車両側が異常発報を開始してからボタンを離すとページャー側でもブザーが鳴ります（バイブモードでは振動と音が交互）。

バックアップサイレン

専用キーでONにすることで常時機能します。バッテリー端子の切断やサイレンの電源線を切断されると鳴動します。
※ 車両のバッテリーを交換する場合は事前に専用キーでOFFにしてください。OFFにしないとサイレンが鳴りっ放しになり故障の原因となります。

© 2008 VISION JAPAN

その他の機能（続き）

II ボタンによるパニック

セキュリティ警戒中にリモコンのCH2ボタンを3秒以上長押しすることにより、サイレントモード（15頁「サイレントモードのセット」を参照）での異常発報をさせることができます。このパニック機能によるハザードフラッシュの異常発報は30秒間継続します。この30秒間にはハザードフラッシュの他、LEDの急点滅が行われす。

車両側動作

一旦セキュリティ解除した後すぐにサイレントモードでの異常発報状態となります。

TR53A-7X（ページャー）側動作

ページャー液晶画面の表示はボタンを押しているあいだアイコンが表示されたままとなります。車両側が異常発報を開始してからボタンを離すとページャー側でもブザーが鳴ります。

各種機能の設定

本製品はお客様のご使用される環境に、より適応させるためのモードを搭載しています。モード選択の方法は以下の手順に従い、下記表にある回数イグニッションキーをON/OFFさせます。

1. リモコンを使って一度セキュリティをセットした後すぐに解除します。
2. 解除後20秒以内にイグニッション・キーをACCからONへ必要回数動かし、再びACCへ戻します。(20秒以内に必要回数動かしてください。)
3. 上記操作終了後ただちにリモコンの I ボタンを押します。
4. ハザードがON/OFFの数と同回数点滅しモードが変更された事を表示します。
5. モード変更完了です。別の項目を変更する場合は手順1.～4.を繰り返します。

※モードは上記手順1.～4.を繰り返すたびに入れ替わります。

モード選択表：

ON/OFF回数	選択機能	選択内容	工場出荷時
3	インテリジェントIGプロテクト（エンスタ対応）	ﾌﾟﾛﾃｸﾄ/ｴﾝｽﾀ	ﾌﾟﾛﾃｸﾄ
4	リモートスタート中確認動作	ON/OFF	OFF
8	オートアーム	ON/OFF	OFF
10	オートリアーム	ON/OFF	OFF
17	イクステリアイルミネーション	ON/OFF	OFF
20	リモコン登録/リセットコード変更※	初期値 "6"	

※30、31頁参照

ヒント

プッシュスタートシステム搭載車両では上記操作は困難ですので、別売オプション機能設定スイッチPBS-30をご使用ください。

機能選択項目説明

インテリジェントIGプロテクト（エンジンスタータ対応）

「**プロテクト**」を選択した場合、システム警戒中にエンジン始動すると異常発報します。
「**エンスタ**」を選択した場合、エンジン始動中はドア検知以外では異常発報しないため、エンジンスタータ／ターボタイマーとの併用が可能です。

※インテリジェントIGプロテクト（IIP）機能はエンスタモード選択中でも、警戒中にドア信号を検知し異常発報すると、その後再度警戒セットされるまで、エンジン始動で異常発報し乗逃げをガードします。

リモートスタート中確認動作（エンスタ連動ライト）

「**ON**」を選択した場合、システム警戒状態でエンジン始動中はハザードが点灯し続けます。
※この機能はエンジンスターター「対応」設定されている場合に有効です。

オートアーム

「**ON**」を選択した場合、イグニッションOFF後最後にドアを開閉した時点から20秒経過すると、自動的にセキュリティをセットします。（ドアロックは行いません。また、アンサーバック時にはドアロックマークは「開」表示）

オートリアーム

「**ON**」を選択した場合、セキュリティを解除した後60秒以内にドアが開けられるか、イグニッションキーがONされない場合には自動的にセキュリティを再セットします。

※　結線の方法によってはドアロックの解除に連動してルームランプ等が点灯する車両では利用できない場合があります。

イクステリアイルミネーション（解除点灯機能）

「**ON**」を選択した場合、解除時のハザード点滅（3回）後ハザードが点灯します。ハザードは30秒間またはドアが開くか、IGがONになるまで点灯します。夜間の駐車場でお車を見つけやすくします。

※ ドアロックの解除に連動してルームランプ等が点灯する車両では利用できません。

ヒント

異常発報とはシステムが異常を検知し、サイレン鳴動やハザードフラッシュを行う事です。セキュリティが通常セットされている場合には30秒間のサイレン鳴動と、ハザードフラッシュを行います。サイレントモードでのセット時にはハザードフラッシュのみとなります。

© 2008 VISION JAPAN

取扱いに関するQ & A

Q1 :**車を点検に出したらリモコンが効かなくなった！**

A1 :車両点検作業の際にバッテリーを外す等して電源ラインにノイズが発生すると、まれにリモコンのメモリーが消えてしまうことがあります。バッテリーを外す前に、必ず本体のメインカプラーを抜いてから作業を行って下さい。
☞システムセット中に効かなくなった場合には緊急解除コードを使用してセキュリティを解除します。すぐに続けてリモコン登録モードに入り、リモコンの再登録を行ってください。（本説明書30頁リモコン登録方法を参照）

Q2 :**リモコンを紛失して不正利用されるのが不安！**

A2 :☞本製品ではリモコン登録の方法として、よりセキュリティ性の高いオールリセット方式を採用しています。この方式ではリモコン登録時に登録されている全てのリモコンIDが消去され、新たに登録されたリモコンのみが利用可能となります。
本書30頁を参照してリモコンの再登録を行ってください。紛失したリモコンではシステムを操作できなくなります。

Q3 :**出先でリモコンを紛失してしまった！**

A3 :緊急解除コードを使用してセキュリティを解除することができます。解除方法は本説明書15ページの「緊急（緊急リセットコードによる）解除」を参照してください。

Q4 :**リモコンの電池が切れてしまった！**

A4 :本製品のTR53A-7Xページャーリモコンには市販の単４型アルカリ乾電池を使用しています。お近くのコンビニエンスストアやホームセンター等でお買い求めください。

Q5 :**セキュリティはセットされているのに何も反応しない！**

A5 :セキュリティセットの際にリモコンボタンCH2を使用していませんか？
II を使用するとシステムはサイレントモードでセットされるため取付内容によっては何も反応していないように感じることがあります。（本説明書15ページ「サイレントモードのセット」をご参照ください。）

Q6 :**異常発報時にリモコン操作ができない！**

A6 :警告通知時または異常発報時には、通知開始から数秒間は常に車両システムが送信状態、ページャー側が受信状態となるためにページャーリモコンからの操作はできません。発報から６～１０秒たってから、リモコン操作を行って下さい。

Q7 :**ページャーの表示がおかしい！**

A7 :ページャーリモコンに使用している電池の電圧が下がりすぎてしまったり（電池交換アイコンがついているにもかかわらず使い続けた）ページャーを落とす等して衝撃を加えた際に電池が一瞬電池ホルダーから離れたり、電池ホルダーに酸化皮膜が出来る等してページャー内の電源電圧が低くなりすぎた場合には液晶表示がおかしくなる事があります。このような場合にはページャーリモコンから一度電池を抜き、 ボタンを押してから電池を入れてください。

《保証・無料修理規定》

1:本製品の保証期間はお買い上げ日より1年間です。

2:取り扱い説明書の注意に従った正常な使用状態で保証期間中に万一故障した場合は、お買い上げの販売店にて無料修理いたします。
ただし、出張修理の場合は実費を申し受けます。

3:保証期間内に故障して無料修理をご依頼になる場合には、商品と本書をご持参の上、お買い上げの販売店にてご依頼ください。保証書のない場合には保証対象外となります。又、必ずご購入レシートを添付して下さい。

4:ご転居、ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、当社へ直接お送りください。

5:本製品は持ち込み修理品となりますので、商品をお送りいただく際の送料及び取外し、取付費用は、お客様のご負担にてお願い申し上げます。

6:保証期間内でも次の場合は有償となります。
- ●リモコン電池等の消耗品の交換、及び電池の液漏れによる故障、損傷
- ●製品内への水・油分等の侵入による故障及び損傷。
- ●使用上、取付上の誤り、不注意による故障及び損傷
- ●不当な修理、改造による故障及び損傷
- ●お買い上げ後の落下等による故障及び損傷
- ●火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、公害、塩害等による故障及び損傷
- ●普通乗用車以外に使用された場合の故障及び損傷
- ●本書のご提示がない場合または保証書記載事項に不備のある場合
- ●本書にお買上げ日、購入者名、販売店名の記入のない場合、字句を書き換えた場合

7:本書は日本国内においてのみ有効です。(This warrenty is valid only in Japan)

8:本書は再発行は致しませんので、紛失しないように大切に保管してください。

注意！

- ・この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- ・保証期間経過後の修理等についてご不明な点は、お買上げの販売店へお問い合わせください。
- ・各記入欄に必要事項の記載のない保証書は無効となりますので、記入の有無をご確認の上漏れ事項がある場合は、直ちにお買上げの販売店にてお申し付けください。

© 2008 VISION JAPAN